

# 4号機使用済燃料プールに係る運用の見直しについて

2018年7月26日

---

東京電力ホールディングス株式会社

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

秘密情報 目的外使用・複製・開示禁止 東京電力ホールディングス株式会社

**TEPCO**

## 1. 背景・目的

---

1

- 4号機は、2014年に使用済燃料プール（以下「SFP」という。）の燃料取出しを完了し、現在、SFP内に放射化された機器等※を貯蔵している。
- このため、SFPの運用では、これらの機器を遮蔽するための水位の確保と、貯蔵するための水質管理が重要。
- 2018年3月、監視用カメラを多重化し、水位監視に係る信頼性を向上。
- 水位の確保について、循環運転を停止して、水位計による水位の確認から、監視カメラによるSFPの状態確認へ見直していく。
- 水質確認について、これまでと同様に実施。

※（例）中性子検出器、制御棒

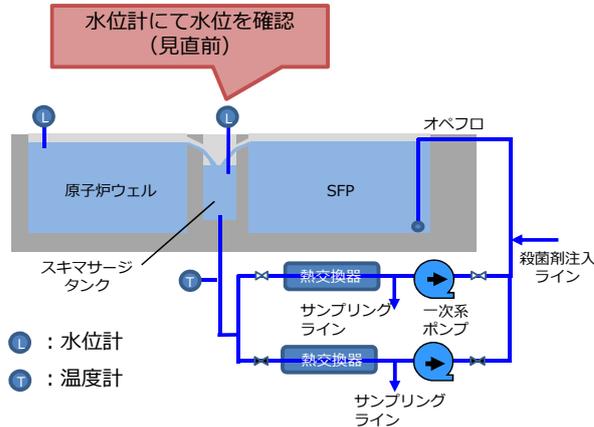
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

秘密情報 目的外使用・複製・開示禁止 東京電力ホールディングス株式会社

**TEPCO**

▶ 主な運用の見直し

管理項目	これまでの運用	今後の運用
水位	プール水を循環してオーバーフローさせて、スキマサージタンクの水位を確認。	循環運転を停止し、ウェブカメラにてプールの状態を確認。
水質	水質分析：3ヶ月に1回 殺菌剤：3ヶ月に1回程度注入	水質分析：3ヶ月に1回 (当初3ヶ月は1ヶ月に1回実施し状態を確認) 殺菌剤：3ヶ月に1回程度注入



<系統概略図>



<監視用カメラ確認状況>

3.スケジュール

